

～～第8398回～～

浜石岳

～H30. 3. 24～

富士山の眺望を期待し8:25 由比駅出発、旧東海道を東に10分ほど歩き浜石岳方面への標識に従って、ハイキングコースへ。新幹線ガード下をくぐって、西山寺地区に入る。

「ようこそ浜石岳へ」の大きな看板、桃の木が濃いピンクの花を一杯に咲かせて春本番を感じさせてくれた。家並みが尽きる辺りから舗装された農道の勾配が少しずつ急になり、浜石岳を愛する会の「ちょっと一休み」の立札の地点で雲の上に富士山山頂付近を見ることができた。各地で桜の開花が発表され始めたが、遠くに望む蒲原の御殿山はまだ蕾が固いようだ。登り始めてから30分ほどで小休止し、早くも汗ばんだ服装を整える。勾配を増したつづら折りの農道は、曲がるたびに同じような眺めが現れ、先まで見通せる所もあって、いつまで続くのかとちょっと疲れる。1時間ほど登ると、野菜やミカンの畑があるやや開けた所に出た。つかの間平坦になりほっと一息ついたが、すぐに同じような坂道の連続となった。10:00頃、由比から5.5kmほどの「三本松を経て浜石岳」の標識から山道へ。杉林に入って空気がひんやりして心地よい。急登であったが、林道を離れてようやく山にきた感じが出てきた。途中の分岐点で方向を吟味しながら進み、30分ほどで宿泊や野外活動の施設が整った青少年野外センターに到着。トイレ休憩とエネルギー補給ののち、再び山道に入って杉木立の中を登り薩埵峠方面からの登山道と合流、電波塔の西側を回って11:15 広く開放的な707mの山頂に到着した。晴れているが意外に雲が厚い。富士山は裾野しか姿を見せず、南アルプス方面も雲に覆われ案内板を見て、あの辺りが〇〇山、〇〇岳…と想像するしかなかったが、愛鷹連峰の残雪、伊豆半島、清水港など、360度のパノラマを楽しみながらの昼食だった。時折、雲が途切れて富士山の一部を見ることができたが、残念ながらそれ以上の眺めはまたの機会に期待しよう。昼食を終え11:45 山頂を出発、登ってきた方向の反対側に降り、舗装道路に出て下山を開始した。途中所々で富士山が7合目辺りから上の姿を見せてくれて、「もう少し頂上にいれば良かった」などと話しながら進む。途中ミカン農家の方から、熟して木から落ちてしまったというミカン(はるみ)を頂き、味わいながら会話も弾んだ。麓の今宿地区を通って朝方の道に戻り、13:40 由比駅に到着した。一本調子の下り坂で、足の爪先への負担が大きかったようだ。桜が咲きそろうにはまだ早かったが、あちらこちらで花々を愛でることができ、春らしく気持ちの良い1日だった。

参加者：21名（静岡北20、静岡西1）

天候：晴れ／薄曇り

地図：蒲原

コースタイム：由比駅 825…西山寺地区 855…三本松分岐 1000…野外センター 1040…山頂 1115-45…三本松分岐 1240…由比駅 1340

記録：静岡北支部 M・W